



自費研+  
特集1

全身的ウェルエイジング  
糖化と酸化の最新対策

自費研+  
特集2

ただ痩せるより、きれいな体形へ

最新 瘦身機器



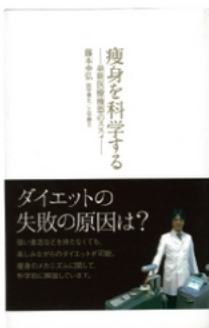
一覧



著者：山岸昌一 先生  
書編名：老けたくなければファーストフードを食べるな 老化物質AGEの正体



著者：山岸昌一 先生  
書編名：AGE攻略レシピ  
AGE研究協会 <http://reage.jp/>



著者：藤本幸弘 先生  
書編名：瘦身を科学する



著者：藤本幸弘 先生  
書編名：デイフェンシブ栄養学

人の平均寿命は伸び続けている。近い将来、先進国では100歳以上生きる人が半数を超えると予測されている。この予測がもたらす現象は、人は老いて衰えていくことを前提とした社会に大きな影響を与えている。個人レベルの「老化対策」は、すでに現実的な問題になっていて、寿命までの生活費の問題がマスメディアで頻繁に取り上げられており、個人の経済的価値や社会との関わりを長年にわたって維持・向上させることを強く意識せずにはいられなくなってきた。そのベースとなるのは、心身の健康である。加齢性の疾患の発症率を下げ、見た目の老化を緩徐にし、健康的に美しく長く生きる「ウェルエイジング」が問われる時が来ている。

今号の自費研Plusは、「糖化と酸化の最新対策」と「ただ痩せるより、きれいな体形へ」という2つのテーマで、「ウェルエイジング」というニーズに応えるための情報を特集した。

巻頭のインタビューでは、山岸昌一先生に、老年病を包括的に制御するカギとなる終末糖化産物・AGEについて語っていただいた。老化の背景には酸化ストレスの亢進があると考えられていたが、その源流は糖化によるタンパク質の劣化にあることが近年わかってきた。タンパク質の劣化は、体の中だけでなく「見た目」にも大きな影響を及ぼしている。糖化と酸化は「クロスリンク」しながらAGEの形成を促進するという。特集1では、糖化と酸化の対

策として測定機器をはじめ、抗糖化、抗酸化に関連する製品を取材した。

特集2の「ただ痩せるより、きれいな体形へ」では、瘦身機器を取材した。熱、冷却、衝撃波で脂肪細胞に作用する6機種を集約した。瘦身機器のテクノロジは進化を続けており、効果、適応部位、痛み、ダウンタイムなどの点で改善が進んでいるので、ぜひ最新情報をご覧ください。

栄養学的アドバイスも含めたノンサージカルな瘦身の需要は、性別を問わず、幅広い年齢層をターゲットに成長市場となっている。動きやすい体を持ち、好きな洋服を着られることも「ウェルエイジング」であることは間違いない。